

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	令和5年度トンネル技術者育成に関するVR技術開発業務
業 務 概 要	計画準備 1式、トンネルの変状・異常事例の整理、VR研修対象事例の抽出 1式、トンネルの選定、モデル構築用データ取得 1式、道路トンネル点検VRモデルの構築 1式、研修資料等作成 1式、ワーキングの開催支援 1式、報告書作成 1式
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 九州技術事務所長 山下 尚 福岡県久留米市高野1丁目3-1
契 約 年 月 日	令和 5年 8月23日
契 約 業 者 名	(株)建設技術研究所
契 約 業 者 の 住 所	福岡県福岡市中央区大名2-4-12
契 約 金 額	13,992,000円(税込み)
予 定 価 格	13,992,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり
業 務 場 所	九州技術事務所
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 (自)	令和 5年 8月24日
履 行 期 間 (至)	令和 6年 3月15日
備 考	入札情報サービス (PPI) (https://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx) にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約過程に関する情報を閲覧可能である。

契約理由書

1. 業務件名 令和5年度トンネル技術者育成に関するVR技術開発業務
2. 履行場所 九州技術事務所
3. 契約の相手方 住 所：福岡市中央区大名2-4-12 CTI福岡ビル
会社名：株式会社建設技術研究所 九州支社
電 話：092-714-2211
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、これまで九州地方整備局が実施している計画研修で使用していたトンネルが供用することに伴い、VR技術を活用した現場実習に替わる道路トンネル点検・診断の研修ツールの開発を行い、道路トンネルに関する維持管理技術の向上に資する業務である。

2) 業務の内容

本業務は、計画準備、トンネルの変状・異常事例の整理、VR研修対象事例の抽出、トンネルの選定、モデル構築用データ取得、道路トンネル点検VRモデルの構築、研修資料等作成、ワーキングの開催支援、報告書作成を行うものである。

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が20者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を18者が入手（ダウンロード）し、3者から参加表明書が提出され、3者が参加資格を有していた。

参加資格を有する参加表明提出者のうち3者を技術提案書の提出者として選定し、3者から技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び特定テーマ「道路トンネルの維持管理研修で、効果的に技術力向上を図るためのVR技術を活用した研修ツール開発にあたっての留意点」に係る技術力を備えていると判断される。

特に「配置予定技術者の資格及び実績等」は最も優れた評価であり、かつ「実施方針・実施フロー、工程表、その他」の「業務理解度」が簡潔かつ的確に記載されていること、及び特定テーマの「道路トンネルの維持管理研修で、効果的に技術力向上を図るためのVR技術を活用した研修ツール開発にあたっての留意点」に対する技術提案について、「的確性」と「実現性」が最も優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記業者と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

九州技術事務所 維持管理技術課長